

倉敷市児島地区公共施設再編整備事業  
事業者選定基準書

令和6年7月1日

倉 敷 市

## 1 事業者選定基準の位置付け

この倉敷市児島地区公共施設再編整備事業事業者選定基準書（以下「選定基準書」という。）は、倉敷市児島地区公共施設再編整備事業（以下「本事業」という。）を実施する事業者の選定を公募型プロポーザル方式により行うにあたり、優秀提案者の選定方法や評価基準等を示すものです。

なお、この選定基準書は、募集要項と一体的なものとして扱います。

## 2 審査の基本的な考え方

本事業は、大学施設、ホール機能等を有する複合施設及び公園施設の設計・建設に加え、居ながら改修工事等を行うため、事業者の幅広い能力やノウハウを活かした効率的かつ効果的な事業実施が求められます。

したがって、事業者の選定にあたっては、応募者が募集要項に規定する資格を有しており、かつ、応募者の提案内容が、募集要項及び要求水準書に規定する要件（以下「要求水準」という。）を満足することを前提として、提案価格及び事業実施能力等を総合的に評価します。

## 3 審査体制

### （１）選定委員会の構成

事業者の選定は、有識者等で構成する倉敷市公共施設再編整備事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置して行います。選定委員の構成は次のとおりです。

所 属	氏名（敬称略）
福山大学工学部建築学科 教授	藤 原 美 樹
倉敷市総合福祉事業団 福祉施設課 主幹	池 田 眞知子
倉敷市立短期大学 学長	安 達 励 人
倉敷市企画財政局 局長	杉 岡 知 裕
倉敷市建設局 参与	仁 科 隆 晴

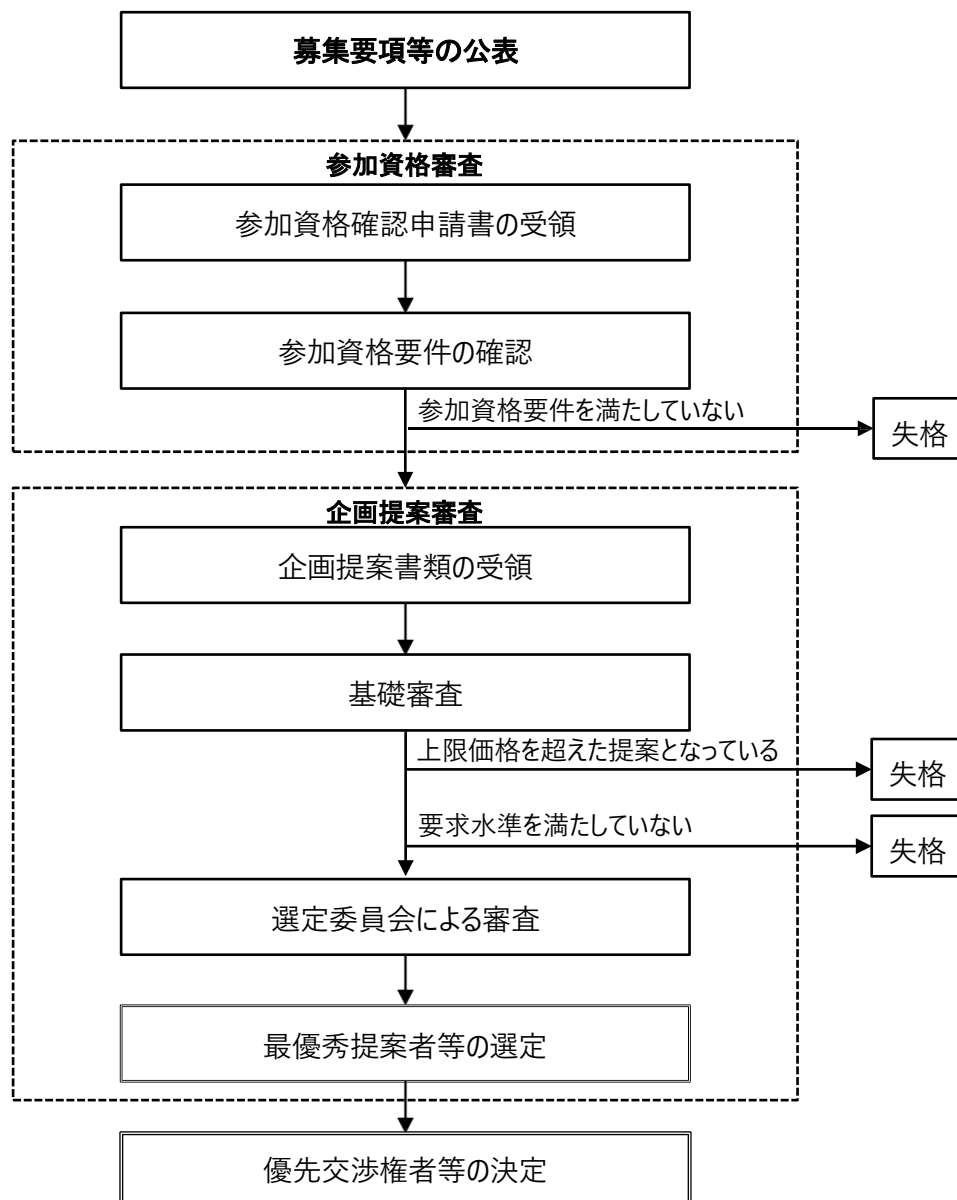
## （２）選定委員会の役割

選定委員会の所掌事務は次のとおりです。倉敷市（以下「本市」という。）は、選定委員会からの答申に基づき、優先交渉権者、次点交渉権者を決定します。

- ① P F I 事業等の実施に係る方針及び選定に関する事項
- ② P F I 事業等を実施する民間事業者の選定方法及び選定基準に関する事項
- ③ 事業者の選定に係る審査及び評価に関する事項
- ④ 前各号に掲げるもののほか、P F I 事業等の実施に関し必要な事項

## ４ 審査の流れ

審査の流れは次のとおりです。



## 5 審査方法

審査は、二段階に分けて実施するものとし、参加資格の確認申請書類に基づき応募者の資格、実績等の事業遂行能力を評価する「参加資格審査」と、資格審査を通過した応募者の提出書類による提案内容等を審査する「企画提案審査」を行います。

## 6 参加資格審査

参加資格審査は、参加資格確認申請書の受付日を基準日として、参加資格確認申請書（様式 2-1～様式 2-6、添付資料）により、応募者が募集要項に記載の応募者の備えるべき参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認します。

なお、参加資格確認後、優先交渉権者の決定までの期間に、応募者が参加資格要件を欠くような事態が生じた場合には、原則として失格とします。

また、優先交渉権者の決定以降、事業契約締結までの期間に、優先交渉権者の代表企業又は構成企業が応募者の参加資格要件を欠くような事態が生じた場合には、本市は事業契約を締結しないこととします。

## 7 企画提案審査

### （１）基礎審査

本市は、まず基礎審査として、次のア、イについて、応募者から提出された企画提案書類に記載された内容が、募集要項等に記載された条件を満たしているか否かを審査します。

#### ア 企画提案書類の確認

本市は、応募者から提出された企画提案書類（様式 3-1～様式 3-11、添付資料）に不備・不足がないかを確認します。

#### イ 提案価格の確認

価格提案書（様式 4-1、様式 4-2）に記載された提案価格（市が支払う費用の総額）が、本市が設定した提案上限価格を超えていないことを確認します。

なお、提案価格が提案上限価格を超えている場合は失格とします。

## (2) 選定委員会による審査

基礎審査において合格とした応募者の企画提案書類について、選定委員会にて審査を行います。

### ア 評価区分と配点

企画提案書類に記載された内容について、次に示す「評価区分と配点」に従って評価し得点化します。

評価区分と配点

評価区分	配点
A 事業者の実績	20 点
B 企画提案（業務全般、設計・施工）	320 点
C 価格提案	60 点
合 計	400 点

### イ 「A 事業者の実績」の評価基準

「A 事業者の実績」の評価項目及び評価方法は別紙1のとおりとします。

### ウ 「B 企画提案（業務全般、設計・施工）」の評価基準

「B 企画提案（業務全般、設計・施工）」の評価基準は別紙1のとおりとします。

なお、B－1 業務全般 ウ) 地域振興・地域経済への貢献の提案 ①元請企業から直接市内業者に発注する金額以外の項目は、次の得点化方法に基づき5段階により評価するものとし、各委員の評価点を項目ごとに平均して算出します。

得点化方法

評価	評価内容	得点化方法 ※
a	極めて優れた提案である	配点 × 1.00
b	優れた提案である	配点 × 0.8
c	評価できる提案である	配点 × 0.6
d	やや評価できる提案である	配点 × 0.4
e	評価は低い提案である	配点 × 0.2

※得点は小数点以下第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出するものとします。

## エ 「C 価格提案」の評価基準

価格提案においては、次に示す算定式により得点を算出します。

配点は 60 点を上限とし、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位まで算出するものとします。

【算定式】
<b>価格提案の得点 = 60 点 × 最低提案価格 / 当該応募者の提案価格</b>

※最低提案価格とは、全ての応募者の提案価格の内、最も低い提案価格をいう。

## 8 最優秀提案者等の決定

選定委員会は、A～C の評価区分における得点の合計を総合点とし、総合点が最も高い応募者を最優秀提案者、2 番目に点数が高い応募者を次点優秀提案者、3 番目に点数が高い応募者を次々点優秀提案者として選定します。ただし、総合点が基準に満たない場合は、優秀提案者として選定しない場合があります。

また、倉敷市 P F I 事業等応募促進報奨金交付要綱（令和 6 年倉敷市告示第 4 2 0 号）における交付対象者の候補者を併せて選定します。

なお、総合点が最も高い応募者が複数ある場合は、C の得点が最も高い応募者を最優秀提案者とし、この場合において、C の得点が同点である応募者が複数あるときは、選定委員の投票により最優秀提案者を選定します。

## 9 優先交渉権者の決定及び公表

本市は、選定委員会の答申を受けて優先交渉権者及び次点交渉権者を決定し、各応募者に個別に通知するとともに、倉敷市ホームページにおいて公表します。また、審査結果の概要、審査講評についても公表します。

なお、優先交渉権者との間で事業契約に関する協議が整わない場合は、本市は、次点交渉権者との間で事業契約に関する協議を行います。